

ゆめ

さくら

夢咲楽

～ わ わ わ つ しん 和輪話通信 ～

目次	■ あいさつはコミュニケーションの第一歩……………1	■ マスミLABOのICTワンポイントアドバイス……………3 「スマートフォン依存症の巻」
	■ わわわ隊の「め」……………2	■ 青少年センターの活動 ……………4

あいさつはコミュニケーションの第一歩

わわわ隊が、さくら市内の小中高等学校の正門や昇降口で「朝のあいさつ巡回活動」をスタートして、5年目を迎えます。回を重ねるごとに、わわわ隊だけでなく、先生や保護者、児童会、生徒会の子ども達も一緒に朝のあいさつを行う学校が増えてきて、活動の輪が広がっています。

そんな中から、今回は喜連川小学校の児童会運営委員会のみなさんに話を聞きました。

あいさつの習慣を喜小に根付かせるために大活躍中の運営委員会のみなさんが、「あいさつ巡回活動」に参加するようになって2年目になります。

「最初は自分も、声をかけられるみんなも恥ずかしがって、お互いにあいさつがなかなかできなかった。」

「あいさつを返してもらえなかったり、小さい声でしかあいさつしてもらえなかった。」うまいかないことも最初はたくさんあったようですが、そこからどんな工夫をしたのでしょうか。

「みんなに伝わりやすいように横断幕を作ったり、運営委員が声を出すようにした。」

「とにかく大きな声で、笑顔で！」

「ひとり一人に聞こえるようにハッキリ声を出すよう心がけた。」

運営委員のみなさんは、誰よりもいちばん大きな声であいさつすることを今も心がけています。

「大きな声であいさつが返ってくると手ごたえを感じる。」

「知らない子でもあいさつが返ってくると嬉しい。」

「これからも楽しんで続けていけそう。」

運営委員のみなさんは口をそろえてあいさつ活動が楽しいと話してくれました。

朝のあいさつは気持ちよい一日の始まりの合図。あいさつを通じてお互いに心を通わせることのできる喜びを子どもたちが改めて教えてくれました。



喜連川小学校



上松山小学校



氏家小学校

平成28年度あいさつ巡回活動日

(H28) 7/6(水) 9/7(水) 11/2(水)
(H29) 1/11(水) 3/1(水)

上松山小は下記の日程となります

(H28) 9/7(水) 11/9(水) (H29) 1/11(水)

青少年センターの班活動について
紹介します。今回はICT研究班です。

わわわ隊 の「め」

わわわ隊のしくみ

研修班

体験
活動班

ICT
研究班

あいさつ
巡回活動
(全体活動)

広報
啓発班



どんなことをしているの？

ICTの正しい活用の仕方につ
いて研究し、その情報を発信し
ています。

わわわ通信の「マスミLABO
のICTワンポイントアドバイス」
のコーナーもその一つです。

見やすくわかり
やすい記事づくりに
つとめています。

身近な話題をい
ち早くお伝えするこ
とを心がけてます。



1日あたりのテレビ・ビデオ・DVD視聴時間
(月～金曜日：小学校)



1日あたりのテレビ・ビデオ・DVD視聴時間
(月～金曜日：中学校)



近年、子どもたちの「インターネット依存」や「メディア漬け」
などが社会問題になっていますが、さくら市も例外ではありませ
ん。平成26年度の調査では、左のグラフのように、平日のテ
レビやビデオ等の視聴時間は、全国平均よりも高い傾向にあり
ます。この結果に、右のページの子のようにゲームや携帯電話・
スマートフォンを利用している時間が加わるのですから、メデ
ィア接触時間はさらに長くなります。

このような現状からさくら市では、市内の全小中学校が同じ
期日で一斉に「ノーメディアチャレンジシート※1」に取り組んで
います。小中学生を持つ各家庭では、テレビ等の視聴時間やス
マートフォン等の操作時間を見直し、「早ね・早起き・朝ごはん」
の生活リズムを作る機会としています。

わわわ隊 福田克之



ノーメディア合言葉

- ① ようなら
午後9時過ぎたら
また明日
- ② ふうしよう
余裕ができた
その時間
- ③ くらくと
早起きできるよ
明日の朝

※1 塩谷南那須教育事務所・塩谷南那須教育委員会連合会作成

マスミLABOの ICTワンポイントアドバイス

スマートフォン依存症の巻



最近、勉強中でも食事中でも、スマートフォンが手元にな
いとなんとなく落ち着かないんです。

それは、「スマホ依存」かもしれませんね。

スマートフォンは通話やメール以外にも、SNSやネットゲームの通知
などの機能があり、その通知は時間を問わずに来てしまいます。そう
なると別のことをしていても通知が気になってしまい、食事や勉強の時
間もスマートフォンを離すことができなくなってしまいます。このよう
な「スマホ依存」ぎみの人が、大人・子どもを問わず増えてきています。



また、友達とのSNSのやり取りに時間を割かれ、生活のリズムが崩
れてしまう人も増えていきます。
「食事や勉強の時はスマートフォンを触らない。」「友達とのやりと
りは節度をもって使う。」など、家庭や友達同士でルールを決めてス
マートフォンを使うようにしましょう。

保護者の方へ

最近ではスマートフォンを手放せない大人も増えていきます。子どものお
手本になるためにも、保護者の方々がスマートフォンとの正しい付き合い
方を示さなければなりません。使ってもいい場面、使わせたくない場
面をしっかりと見極め、お手本となる付き合い方を見つけていきましょう。
また、スマートフォン自体に機能を制限させるアプリを使えば、ゲームア
プリの起動をしないようにすることもできます。子どもと相談しながら、
このようなアプリを用いて節度ある利用を促しましょう。



青少年センターの活動

農業体験事業「田植え体験」

5月7日(土)柿木沢圃場に於いて、市内小学生とさくら清修高生のユースボランティアが、「田植え体験」を行いました。

参加した子ども達からは「楽しかった。」「またやりたい。」という声。また、見守っていた保護者からは「自分も田植えをしたいと思いました。」「稲の成長が楽しみです。」などの感想を聞くことができました。



少年指導員(和輪話隊)全体会

4月25日(月)少年指導員(和輪話隊)の全体会が行われました。センター長のあいさつの後、体験活動班、研修班、広報啓発・ICT研究班に分かれ、今年度の事業計画などを話し合いました。



『7月は、「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です』

とちぎの子ども育成憲章

前目を輝く子どもたちが、夢と希望と情熱、心算でたくましく成長することは、市民すべての願いです
わたしたちは、子育てに積極的にかかわり、子どもたちをかなで育てていく決意を込め、ここに憲章を制定します

わたしたちは

- 一、子どもたち一人ひとりを尊重し、命を大切にします
- 一、子どもたちとのかわりを深め、思いやりの心をほぐします
- 一、子どもたちとともに、学び、喜び、励ましあい、社会の一員としての自覚を育てます
- 一、一人ひとりが子どもたちの手本となるよう行動します
- 一、とちぎの豊かな自然、伝統、文化を守り、子どもたちに引き継ぎます

平成22年2月9日
栃木県

あとがき

「土用の丑」といえばうなぎを食べる日という風習が、日本にはあります。一説には、江戸時代後期の学者平賀源内が、友だちのうなぎ屋に「暑さで売れ行きが悪い。」と相談をうけ、のき先に「本日、土用の丑、うなぎを食べる日」とはり紙をしたところ、飛ぶように売れたといわれています。ビタミンを多く含むうなぎは、夏バテ防止に効果があるといわれます。

我々わわわ隊の夏バテ防止は、青少年の安全・安心と健全なる成長ではないでしょうか。わわわ隊は、これからも地域の青少年を見守り育てていくことに努めてまいります。

わわわ隊 会長 飯島 満



「わわわ隊」とは

「(和)やかに(輪)になって(話)そう。」という、青少年センター少年指導員のみなさんの思いから、「わわわ隊」という愛称がつけられました。

■広報啓発班 飯島 満・大河原 千晶・岡村 浩雅・福田 克之・村上 佳彦

さくら市の子どもを
みんなで育てよう

第3日曜は
家庭の日

ゆめさくら わわわつしん
夢咲楽～和輪話通信～ 第29号
発行日 平成28年7月1日

発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川4420-1
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368
電子メール syogaigakusyu@city.tochigi-sakura.lg.jp
市ホームページ http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp

次のゆめさくら～わわわつしんは平成28年11月に発行予定です